

事業所名

放課後等デイサービス つばさ

支援プログラム

作成日

2024 年

12 月

26 日

法人（事業所）理念		○一人ひとりが持つ色を輝かせる場所を提供すること。 ○子どもたちの秘めた才能に気づき、伸ばし、大空に羽ばたくその姿に保護者とともに喜びを感じることに。	
支援方針		○すべての子どもたちには個性があり、それぞれ違った能力があります。 ○子ども一人ひとりの違いを理解し、子どもに合った活動内容をお届けすることを目標としています。 ○子どもたちの『やった～！』『できたー！』の気持ちを大切にしながら得意なことほっと得意に苦手なことは一歩ずつ克服できるようにスタッフ一同元気いっぱいの笑顔で誠意をもって支援させていただきます。	
営業時間		月～金 11：30～17：30 土・長期（春・夏・冬休みなど）9：30～16：00	送迎実施の有無 あり
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	○季節に合わせた、調理・自然・行事を通して豊かな心を育てる支援をします。 ○昼食づくり・おやつ作りを通して、食への興味関心や調理の楽しさを持つように支援をします。 ○生活上必要な身近な自立（食事のマナー、トイレ）を目指して支援をします。	
	運動・感覚	○体を動かせる環境を提供し、室内では体操・サーキット・体幹トレーニング、屋外では、公園で野球やサッカー、大縄、鬼ごっこ、散歩など簡単なルールで取り組み、運動能力の向上を目指します。 ○日々のプログラムのなかで、指先運動や感覚遊び（新聞ちぎり、スライム・こんにやく・粘土など）・運動遊び（ダンス、しっぽとり、玉入れ、パン食い競争、マラソンなど）を行い、想像力や発想力を高める支援をします。	
	認知・行動	○スケジュールやルール提示など視覚的な方法で支援をします。 ○外出活動に向けて交通ルール（信号の見方、道の歩き方）、公共交通機関のルール（切符の買い方、バスや電車の乗り方）、公共施設のルール（図書館・映画館・博物館・科学館など）を学び、的確に判断、行動につなげる支援をします。	
	言語コミュニケーション	○発語のない子でも発表する場を確保、ハンドサインなどを用いて自分の考えや気持ちを伝えられるように支援をします。 ○フラッシュカードや言葉遊びで言語を獲得しコミュニケーションを図る支援をします。 ○会話を通じて言葉の意味・ふわふわことば・ちくちくことばなど、状況に応じた言語を身に付ける支援をします。 ○聞かれた質問に的確に返事できるように支援をします。	
	人間関係社会性	○様々な行事・イベントを通じて、集団活動に参加し、仲間などと協力・助け合いができるように支援をします。 ○SST・日常生活を通して、挨拶・ルール・マナー・感謝・謝罪等が身につくよう支援をします。	
家族支援	事業所での様子や気づいたことを送迎時に伝える。常に保護者との情報交換を行い課題を共有していく。 保護者同士の交流の機会の提供（保護者参加型行事等）	移行支援	進級など将来必要とするサービスへの移行についての相談支援を行う。
地域支援・地域連携	イベント等に地域と連携して関わりを作る。 学校、他事業所と関わり、共通の利用者の情報共有をする。	職員の質の向上	各種研修受講、事業所内研修（虐待防止、感染防止等）
主な行事等	新入生歓迎会、お花見、電車でGO、川遊び、バス旅行、水遊び（プール）、夏祭り、流しそうめん、ハロウィン、ピクニック、みかん狩り、クリスマス会、大掃除、豆まき、バレンタイン、ひな祭り、お別れ会、いちご狩り		